

令和5年度保育・教育に関するアンケート結果について

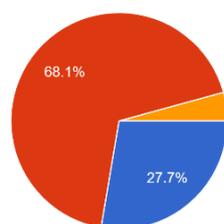
先日実施しました「令和5年度保育・教育に関するアンケート」につきまして、ご協力いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。各調査項目の集計結果について、次のようにご報告させていただきます。アンケートの回収率は58.8%でした。(80世帯中47件)

○毎日の保育・教育について

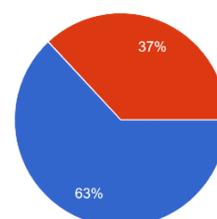
1.保育・教育目標を分かりやすく伝え、目標に応じた保育・教育がなされていますか。



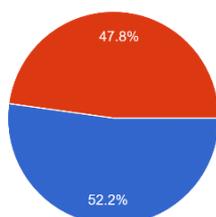
2.年齢に応じた食育の取り組みがなされていますか。



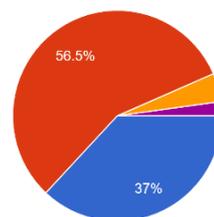
3.子どもがのびのびと楽しんで遊んでいますか。



4.子どもの経験の幅が広がるよう、いろいろな行事や遊びが取り入れられていますか。



5.子ども一人ひとりを保育者が理解し、個性を大切にされた保育・教育がされていますか。

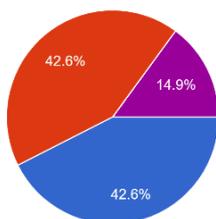


○園の運営について

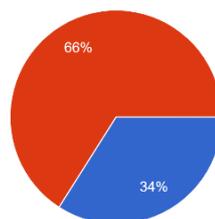
6.登園・降園時に職員から子どもの様子や健康状態等の声掛けがありますか。



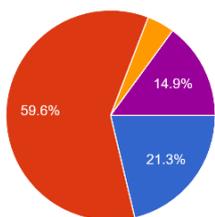
7.個人の都合で保育・教育時間に急な変更が生じた場合、延長保育や一時保育等の柔軟な対応がされていますか。



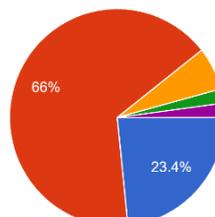
8.園で起きた事故やけが、感染症や急な体調変化に対し、適切な対応がされていますか。



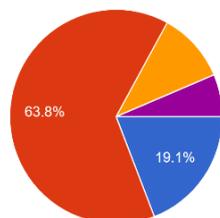
9.災害・不審者などへの安全対策(設備や訓練など)がとられていますか。



10.「園だより」や「本日の活動」、「ほけんだより」、ホームページ等の情報提供はわかりやすく伝える工夫や配慮がされていますか。



11.子育てに関して学んだり相談できたりする場が提供されていますか。

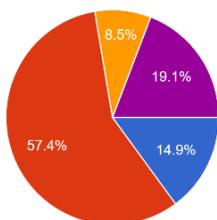


○園全体について

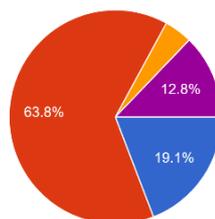
12.子どもは喜んで園に通っていますか。



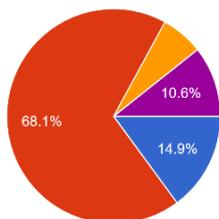
13.保護者の意見や声が園に届いていると感じられますか。



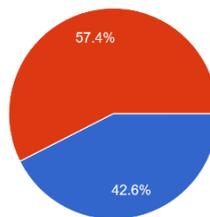
14.保護者や子どものプライバシーは守られていますか。



15.地域との交流は十分に行われていますか。(小学校等との交流や地域住民との交流、地域にある他施設の利用や地域行事の参加等)



16.総合的に、まごころ認定こども園に子どもを通わせてよかったですと感じますか。



17.各項目に対する具体的なご意見、その他、まごころ認定こども園についての総合的な感想や疑問、来年度に向けての要望等があれば自由にご記入ください。

以下、非公開を希望する記述を除き、すべてのご意見等について、順不同、原文のままで掲載いたします。

- ・写真の販売システムについて、撮影期間が長く見るのに時間がかかり過ぎます
夕方iPadを食い入るように子どもたちが見ていた姿をみて(先生も座って見ているだけ)夕方まで預けるのが不安になりました
教具のひとつとして音を鳴らしたり動画を見ながら踊ったりなら納得だったんですが…
- ・お友達関係が円滑に進むように細かな部分まで配慮し、子供の話をしっかり聞いてあげてください。
子供は大人が思っている以上に敏感です。
- ・子供が、担任の先生のこと大好きです。安心して預けられます。「保育園に行こう」と言うと「イヤ」という時も「担任の先生のとこ行こうか」と言うと、「うん」と言ってくれたりします。また、ほんの少しの傷や、ほんの少しの怪我であっても、「こういうことがあって、こういう怪我をしてしまいました、申し訳ありません」など、真摯に誠実に保護者に教えてもらえるので、安全面で安心感があります。保育園に通わせるにあたって、いろいろな行事やイベントなどありがたいですが、やはり親としては、一番身近な担任の先生が、良い先生であることと、安全面が一番のポイントです。行事やイベント、お便りなど、減らしてもらっても構わないので、今まで以上に安全面に力を入れていただきたいです。全国で、「誤飲」や「バス内置き去り」など子供の命が奪われる事故が起きていますので、これからも、さらなる安全への配慮をお願い致します。
- ・先生の数、最低ラインはクリアしているとは思いますが、もう少し多い方が先生の負担も減るだろうし、保護者的にも安心できるかなと思います。
- ・年度途中で、入って来られた新任の先生の紹介等の案内があると安心します。
新任の先生でこれから、長くお世話になる方が実習生等なのか気になるのですが送り迎えの時間では、なるべく早く家に帰りたいので先生と話す時間が取れないので。
- ・今年度は、コロナの影響もなく行事などを開催でき、たくさん子ども達の笑顔を見ることができてよかったと思います。子どものために一生懸命に支援や指導していただきまして、ありがとうございます。来年度も、どうぞよろしくお願い致します。
- ・いつも良くしていただき本当にありがとうございます！
こどもも私もまごころ認定こども園の先生方に支えられています！
先生方もご家族がいる中大変なのに、他人のこどもにここまで良くして下さりありがとうございます。
母としても一個人としてもとても尊敬できる先生方ばかりです。
これからも宜しく願いいたします。
- ・毎日の園での活動や子どもの様子などが玄関に写真付きで掲示されておりとても良いと思うが、アプリやwebサイト上に掲載された方が後でも見返すことができ、家族にも共有しやすくより良いと思う。
- ・お茶会は、なくても良いと思う。
時間も長く、お茶の先生の思うように、子供達も誘導され、指導の仕方が今の時代にはとても、危険な指導の仕方。不愉快。子供も、楽しくない、苦痛に感じてる！
他にも楽しく。子供がのびのびと出来る事を取り入れて欲しいです

○具体的なご意見等に対し、園が取り組みを予定していることやすでに取り組みを始めていることについて

・写真の販売システムについて

当園では、令和4年度より、「写真の光陽」を通じて写真のweb販売を実施しています。令和4年度の販売システムは顔認証による写真のしぼりこみができなかったため、令和5年度より、現在の「そだちえ」を利用した販売に変更してもらいました。

また、販売にあたり、月額利用料等が発生しないよう、販売する写真1枚1枚に手数料等を含めてもらうような形で契約をしてもらっています。そこで、現在の1枚100円~での販売価格を設定するにあたり、ある程度の大きな枚数を一度に掲載する必要があることから、現在の4か月分を年3回販売する形をとることになりました。

写真のweb販売については、まだ2年目で、試行錯誤しながら取り組んでいるところです。また、システム面では、現在利用している「そだちえ」以外にも様々なシステムがあります。一方で、そのようなシステムを利用するためにはその費用のことも考えなければなりません。令和6年度の写真販売については、今後、4・5月頃に詳細を決定するのですが、そのような様々な要素を考慮しつつ、保護者の方に喜んでもらえるような方法を模索していきたいと考えています。

・保育教育中のiPadの活用方法について

当園では、主に職員間の情報共有のために、各クラスに1台ずつiPadを配置しています。しかし、それ以外にも、ダンスや体を動かす遊びの音源、動画等をweb上で拾ったり、園にある図鑑などで調べてもわからないことを調べるのに使ったり、職員ごとに工夫しながら日々の活動にiPadを活かしている職員も多くいます。その使い方については、それぞれの職員の判断に依存している部分も多く、そのなかで保護者の方が不安に感じるような使い方があった可能性があります。来年度は、職員間でiPadの利用の仕方について共有する機会を設けるなかで、望ましい使い方や望ましくない使い方について整理していきたいと考えています。

ただし、子どもの発達段階に応じて、保育者の子ども達への望ましいかかわり方は変化します。概ね0~2歳児の子どもには保育者が個別に丁寧にかかわる必要があります。一方で、子どもたちが大きくなっていくと、子どもたち同士のやり取りのなかで、多くのことを学び、身につけることができるようになっていきます。そのような時、保育者の介入は必要最低限のほうが良い場合もあります。そのような様々なことを考慮しながら、どのような人的環境や物的環境が子どもたちにとって望ましいのか、常に考えながら日々の保育教育に取り組んでいきます。

・保育者の人数について

令和6年4月より4人の保育者が新たに加わる予定です。

よりよい保育教育をするために配置基準を超えた保育者の人数が必要だと考えています。そこで、今年度途中の保育者採用のため、年度を通して常に求人活動を行ってきましたが、望むような結果が出ませんでした。

現在、この地域のこども園や保育園等における有資格者の求人状況は、求職者に対して求人数が非常に多くなっています。そのなかで、少しでも多くの求職者に当園に関心をもってもらえるよう、なによりも既存の職員が当園で保育教育に携わることに満足感がもてるよう、管理者は努めています。

・年度途中の新入職員の紹介について

令和6年度より新入職員の紹介を玄関掲示で行うことを検討します。

ただし、当法人では、入職3カ月は試用期間となっており、また職員の雇用形態も正職、パートタイム、派遣職員など多様化しているため、どのようなタイミングでどのようにお知らせするかは十分に考えながら実施していきたいと考えています。

・アプリやwebサイトでの情報提供の充実について

アプリ等も含めたICTシステム利用に関する見直しを検討中です。

当園では、平成28年に「KidsView」というICTシステムを導入し、主に登降園管理や指導計画、お子様の成長の記録等に役立ててきました。また、それ以前から、「株式会社ビジュアルソフト」に委託する形で、ホームページや一斉メール送信システムなど情報発信の拡充を図ってきました。しかし、近年は毎年のように新しい便利なサービスが次々と登場し、既存のものでできることの限界も見えてきました。

ただし、見直しするうえでは、費用や情報を発信するための職員の手数、既存のシステムから新しいシステムにデータを入れ替えるための労力等、必要な負担も多く発生します。それらを考慮しつつ、慎重に見直しの検討を行っていきたいと考えています。

・年長クラスのお茶会について

まずは、お茶会について苦痛に感じているお子様がいることを教えていただきましたこと、お礼申し上げますとともに苦痛を感じられたお子様とその保護者様には心よりお詫び申し上げます。お茶会の活動のなかで、人権擁護の観点等から望ましくないと考えられるかわりがないか、園内であらためて検証する機会をもちたいと考えています。

年長クラスのお茶会は、日本の文化に親しむことをねらいとして、月1回程度、開園間もない時期から実施してきました。しかし、伝統文化のなかには規律や形式を大事にするという側面があり、こども園の活動のなかで求められることが変わるなかで、今の時代にはあっていないというご意見があるのはその通りだと思います。そのため、今年度は2班に分けての隔月参加で人数を絞り、時間を短くして実施するなど、活動内容の見直しを行っています。また、それぞれの子どもの個性に応じて参加の仕方を工夫するなどもしていました。

また、一方で、1月と2月の保護者と一緒に行うお茶会に参加された保護者の方からは、礼儀正しい普段と違う子どもの姿を見ることができてよかった、日本の文化に触れて自分の生活を見直すきっかけになった、新しい経験をすることができてよかった等、肯定的な意見も複数ありました。

園での活動は、子どもたちの安心安全が大前提ではありますが、子どもの経験が広がるような様々な取り組みも保育教育の大事なねらいのひとつです。そこで、人権擁護の観点等を踏まえて実施が可能と判断した場合は、年長組のお茶会をいきなりなくすのではなく、まずは中身の工夫から行っていきたいと考えています。

○アンケート全体を通した園長の所感について

まずは、アンケートにご協力いただきました保護者の皆様にはあらためてお礼申し上げます。一方で、回答率が58.8%とアンケートに声が反映されていないご家庭も多くありますので、それらの声にならない声に耳を傾ける努力も怠らないようにしていきたいと考えています。

次に、園を運営するにあたり、こども園や保育所等は必ずしも第一希望の園に通われるお子様ばかりではなく、社会には様々な考えの方がいますので、すべての方に満足いただけることは難しいと考えています。しかし、どんなお子様や保護者様にも、この園に通ったことを後悔することはしてほしくないとの思いをもって、日ごろの園の運営にあたっています。それを踏まえて、「16.総合的に、まごころ認定こども園に子どもを通わせてよかったと感じますか。」の項目に対し、多くの保護者の方に肯定的な回答を多くいただきましたことは非常に励みになりました。

また、その他の項目について結果が顕著なところでは、「6.登園・降園時に職員から子どもの様子や健康状態等の声掛けがありましたか。」、「8.園で起きた事故やけが、感染症や急な体調変化に対し、適切な対応がされていますか。」の項目が、例年と比較して肯定的な回答の大幅な増加がみられました。一方で、「10.

「園だより」や「本日の活動」、「ほけんだより」、ホームページ等の情報提供はわかりやすく伝える工夫や配慮がされていますか。」については、昨年に比べて否定的な回答がやや増えました。

これらも含めたすべての項目に対して、その結果と要因をこれから分析していくなかで、施設の自己評価に反映させていきますとともに、保育教育の質の向上に努めていきます。重ね重ねにはなりますが、アンケートにお答えくださいました保護者の皆様、誠にありがとうございました。